

岸田時義さん(国見町竹田津) 農林水産大臣賞を受賞

国見町竹田津の岸田時義さん(68)が、永年にわたって農業委員として農業委員会の活性化に努め地域農業の発展に精励された功績により、農林水産大臣賞を受賞しました。

岸田さんは、旧国見町農業委員を通算8期(21年10ヵ月)歴任。平成8年5月から旧国見町農業委員会会長を2期6年間勤め、合併に伴い昨年の3月31日から国東市農業委員となり、現在に至るまで農地の利用集積や農地流動化の推進等に積極的に尽力されました。

1月19日(金)に別府市で開催された「平成18年度大分県農業委員研修大会」で、広瀬勝貞知事から伝達されました。



▲賞状を手に受賞を喜ぶ岸田さん

国東半島への交流・定住促進に向けて!

国東市・杵築市・大分県が 交流・定住促進連絡協議会を設立

2007年に定年退職を迎える団塊の世代を中心に、国東半島地域への交流・定住を推進しようと、国東市・杵築市・大分県が国東半島交流・定住促進連絡協議会を設立しました。

少子高齢化による人口減少が進む中、定年退職を迎える団塊の世代を呼び込もうと、今後全国各地で定住・交流人口の確保をめざす地域間競争が激しくなることが予想されるため、広域的な連携・協力を図ろうと両市が県のサポートを受けての協議会の設立となりました。自治体の枠を超えた広域的な取り組みは、県内では初のケースとなります。

1月17日(水)杵築市役所で開催された設立総会で、会長に八坂恭介杵築市長を選出しました。

今後は、関連情報の共有、各市の庁内連携体制整備、関係団体のへ協力要請を行い、情報発信の強化と受け入れ支援体制の整備を中心に事業を推進することとしています。



▲1月17日(水)に開催された設立総会のようす

大分県商工会女性部連合会からむさし苑に車いすの寄贈

大分県商工会女性部連合会(秦勝子会長)から市立特別養護老人ホームむさし苑へ車いす1台が寄贈されました。同会は、社会福祉活動の一環として「私たちにもできる福祉活動」をスローガンに、平成9年から会員による「車いす募金活動」に取り組んでおり、これまで県内の福祉施設や教育機関に165台の車いすを寄贈しています。

1月17日(水)に同苑で行われた寄贈式で、県北B地区商工会女性部連絡協議会の白井シマ子会長、伊藤幸子武蔵町商工会女性部長が、むさし苑老人互助会の柗小美子会長に車いすを手渡しました。柗会長が「ありがとうございます。車いすは私たちにとって大切なものです。大切に使います。」とお礼を述べました。



▲(写真右から)柗会長に車いすを手渡した白井会長と伊藤部長